

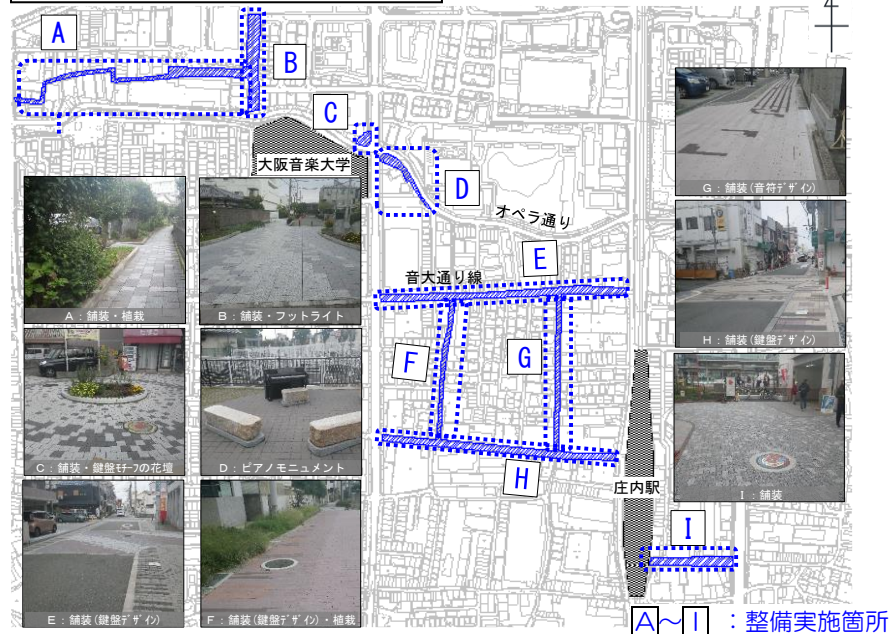
アンケート調査（大阪音楽大学の学生、教職員を対象としたアンケート / 沿線住民を対象としたアンケート）

1. アンケート調査概要

(1) 調査目的

「大阪音楽大学周辺整備事業」として、平成26年から令和6年にかけて庄内駅から大阪音楽大学までのアクセス路の景観整備が実施されたことを背景に、景観整備実施路線を含む道路に対する印象調査および整備効果検証を目的にアンケート調査を実施しました。

大阪音楽大学周辺整備事業 整備実施箇所位置図



(2) 調査概要

アンケート調査は、「大阪音楽大学の学生、教職員を対象としたアンケート」「沿線住民を対象としたアンケート」の2つを実施しました。各アンケート調査の概要は以下の通りです。

●大阪音楽大学の学生、教職員を対象としたアンケート

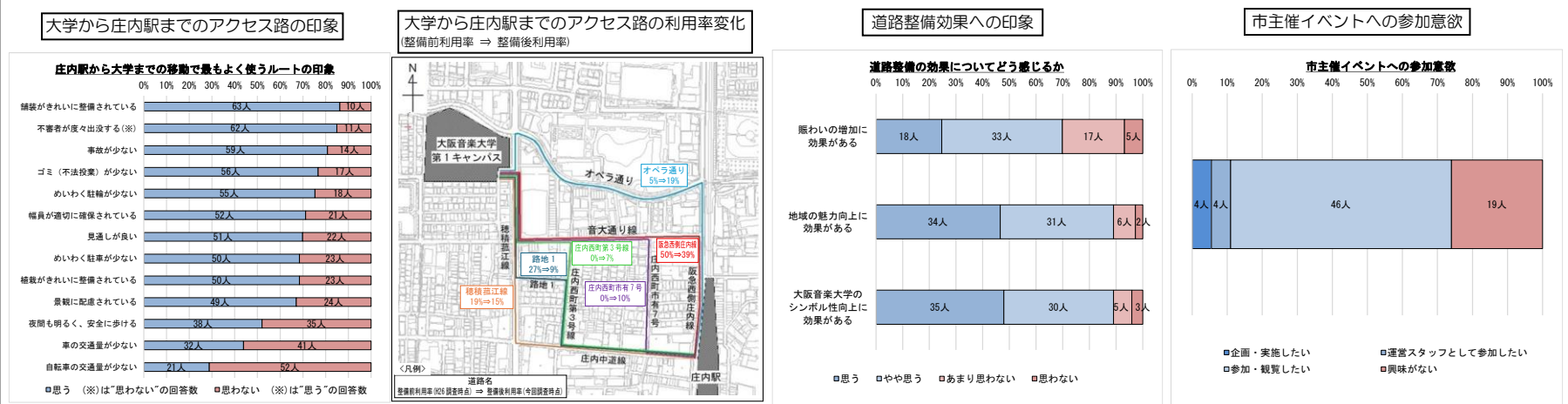
| | |
|---------|--|
| 調査対象 | 大学在籍者(学生および教職員)：1630人 |
| 調査期間 | 令和7年11月10日～令和7年11月28日 |
| 配布方法 | 大学HP上で調査の実施を告知 |
| 回収方法 | 市のwebアンケートフォームで回答 |
| 回収数/回収率 | 73部 / 4.5% |
| | ※配布数が不明のため、大学在籍者数を配布数とした場合の回収率を算出 |
| アンケート内容 | 属性情報(性別/住所/在学期間)、通学ルートの印象、整備実施箇所の印象、整備事業の印象、市主催イベントへの参加意欲 など |

●沿線住民を対象としたアンケート

| | |
|---------|--|
| 調査対象 | 整備箇所周辺の家屋：1500戸 ※整備箇所周辺：庄内東町1丁目、庄内東町2丁目、庄内西町1丁目、庄内西町2丁目、庄内幸町1丁目、庄内幸町2丁目、野田町、庄内栄町1丁目 |
| 調査期間 | 令和7年11月10日～令和7年11月28日 |
| 配布方法 | 調査票を各戸にポスティング |
| 回収方法 | 市のwebアンケートフォームで回答の他、もしくは郵送やファックスによる回答 |
| 回収数/回収率 | 111部 / 7.7% |
| アンケート内容 | 属性情報(性別/年齢/住所/居住期間)、整備実施箇所の印象、整備事業の印象、庄内駅周辺の印象、市主催イベントへの参加意欲 など |

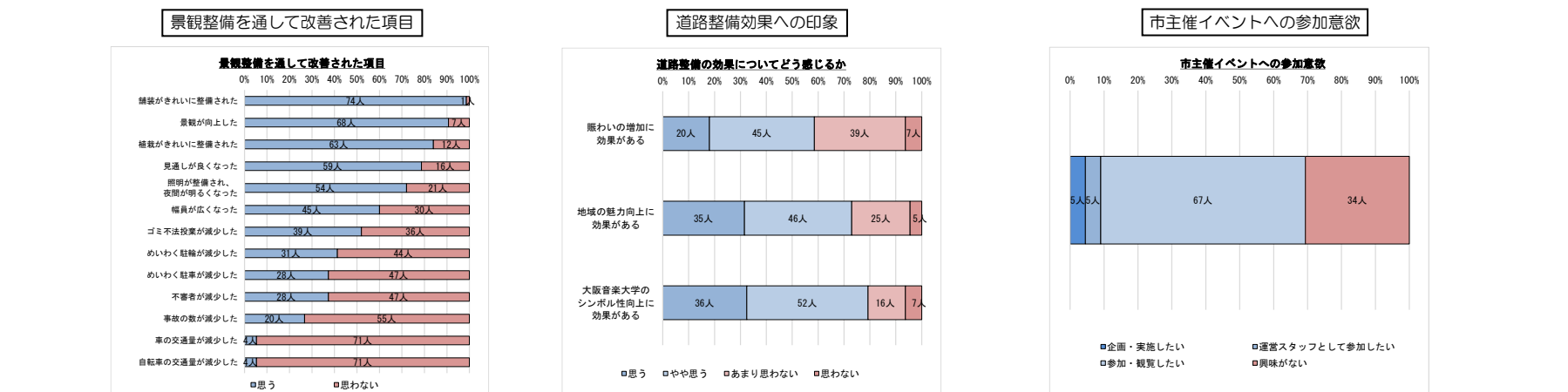
2. 大阪音楽大学の学生、教職員を対象としたアンケート 調査結果

- 大阪音楽大学から庄内駅までのアクセス路についての印象では、「舗装がきれいに整備されている」、「不審者が度々出没しない」、「事故が少ない」といった項目において肯定的な回答が多いです。
- 大阪音楽大学から庄内駅までのアクセス路の利用率では、補完アクセス路として整備が実施した「庄内西町市有7号」および「庄内西町第3号線」の割合が整備前よりも向上しています。
- 道路整備の効果として、9割の回答者が「地域の魅力向上に効果がある」、「大阪音楽大学のシンボル性向上に効果がある」との印象を持っています。
- 市主催イベントについて、7割以上の回答者が参加への意欲を示しています。



3. 沿線住民を対象としたアンケート 調査結果

- 景観整備により改善された項目では、「舗装がきれいに整備された」、「景観が向上した」「植栽がきれいに整備された」といった項目において、肯定的な回答が多いです。
- 道路整備の効果として、7～8割が「地域の魅力が向上した」、「大阪音楽大学のシンボル性が高まった」との印象を持っています。
- 市主催イベントについて、7割の回答者が参加への意欲を示しています。



4. 調査結果のまとめ、整備効果の検証

大阪音楽大学および沿線住民へのアンケートでは、多くの回答者が舗装の整備に対して肯定的な印象を抱いています。また、大阪音楽大学から庄内駅までのアクセス路では、景観整備が実施された路線の利用率が向上しています。道路整備効果への印象では、地域の魅力向上、大阪音楽大学のシンボル性向上といった面において効果を発揮したと考える回答者が特に多いです。以上のことから、本事業は道路利用者から一定の好印象を得ていると推測されます。市主催イベントへの高い参加意欲を確認できたことも踏まえ、官民連携による道路空間の利活用等を検討し、更なる賑わい創出や地域価値の向上を目指します。